

皆さんとともに考える

福岡空港の将来

福岡空港の総合的な調査 いよいよ最終段階のステップ4がスタート!

福岡空港のあり方について、市は、国や県と連携して「総合的な調査」を平成15年度から行っています。調査にあたっては、積極的に情報を提供し、市民の皆さんからの意見を反映させながら進める「パブリック・インボルブメント(PIC)」の手法を取り入れ、4つのステップを踏みながら段階的に進めています。今年度はいよいよ最終段階であるステップ4が行われ、福岡空港のあり方についての方向性(案)が示される予定です。そこで、これまでの各ステップで提供された情報をまとめるとともに、今年度実施するステップ4の内容を紹介します。



現在の福岡空港は市の中心地との交通アクセスの良さは日本一といわれている

これまで提供した情報

福岡空港は、平成14年の国の交通政策審議会答申で、将来的に需給が逼迫する等の事態が予想されることから、総合的な調査を進める必要があると位置付けられたことを受け、市は国や県とともに「福岡空港調査連絡調整会議」を組織し、平成15年度から福岡空港のあり方について「総合的な調査」を行っています。混雑問題をはじめとした福岡空港の持つ課題の整理など、基本的なところからステップ(段階)を踏みながら調査を実施しています(下図参照)。

ステップ1

「福岡空港の現状と課題」、「空港能力の見極め」について調査を行い、①福岡空港の離着陸の処理能力は、年間14・5万回であり、平成15年実績の13・6万回と比べると若干の余裕はあるものの、旅客の利用や航空機の運航に制約が生じ始めている

ステップ2

「地域の将来像と福岡空港の役割」、「航空需要予測」について調査を行い、①地域が目指す7つの将来像とその実現に必要な福岡空港の役割を導いた

②2010年代初期には年間離着陸の処理能力に余力がなくなり、混雑状況が拡大することで、需要に十

PI手法の4つのステップ

ステップ1 (平成17年度終了)

「福岡空港の現状と課題」、「空港能力の見極め」などの調査を行いました。

1,426人から3,115件の意見をいただきました。

ステップ2 (平成18年度終了)

「地域の将来像と福岡空港の役割」、「航空需要予測」などの調査を行いました。

1,352人から3,921件の意見をいただきました。

ステップ3 (平成19年度終了)

「将来需要への対応方策の検討」、「将来対応方策の評価の視点」などの調査を行いました。

2,655人から7,933件の意見をいただきました。

ステップ4 (※今回実施)

「対応案の比較評価と方向性(案)~対応案を比べるとどうなるのかな?」などの調査を行う予定です。

ステップ3

「将来需要への対応方策の検討」、「将来対応方策の評価の視点」について調査を行い、①近隣空港との連携、現空港の滑走路増設および新空港建設の3方策の検討結果を整理した

②対応方策を比較するにあたっての視点として、需給逼迫緩和の視点、利用者利便性の視点など5つの視点を設定した一などの情報を提供しました。

ステップ4の内容

今年度実施する、PIの最終段階であるステップ4は、「対応案の比較評価と方向性(案)~対応案を比べるとどうなるのかな?」などについて調査を実施する予定です。

滑走路増設案と新空港案について、長所と短所を整理して、利用者利便性の視

配布場所

ステップ4が始まりました。市役所1階情報プラザ、各区役所市民相談室、県庁行政棟1階県情報センターで配布します。ステップ4の各イベント会場などでも配布します。また、「PIレポート」の内容は、「福岡空港調査連絡調整会議」のホームページ(www.fukuokaku-ko-chosa.org/)でも見ることができるようになります。

説明会やパネル展を市内各地で開催

説明し、皆さんからの意見を収集するため、さまざまなイベントを開催していきます。福岡市内、福岡地区、北九州地区、筑豊地区、筑後地区の県内5地区の会場で説明会およびパネル展示を開催するほか、空港、県庁、市役所内に情報コーナーを設置。これらの会場でも皆さんからの意見を伺います。また意見交換会も行予定です。積極的な参加をお願いします。

問合せ先

空港将来方策担当 ☎711-4102 ☎733-5158 ☎メール kukosy ourai.GAPB@city.fukuoka.lg.jp

高齢者の皆さんの元気な生活を応援する

「地域包括支援センター」

愛称を募集しています

地域包括支援センター(詳細は2面に掲載)では、高齢者や家族、地域にとって、より身近な総合相談窓口であることをイメージできるよう、親しみやすく、分かりやすい愛称を募集しています。

応募方法

市役所1階情報プラザや各区役所の地域保健福祉課などに設置している応募用紙に①愛称(応募作)と愛称の意味②氏名(ふりがな)③年齢④性別⑤住所・郵便番号⑥電話番号⑦職業(学校)、活動団体を明記して下記まで郵送してください。ファクスやメールでの応募も受け付けます。

【募集期間】10月3日(金)必着
【賞品】最優秀賞に賞状と賞金3万円(同多数の場合は抽選で決定します)
【選考方法(発表)】学識経験者等で構成される地域包括支援センター運営協議会で決定します。入賞者には、12月ごろ直接連絡します。

【その他】①応募作は自作のもので未発表のものに限ります。②最優秀賞に選定された応募者の著作権は本市に帰属します。③最優秀賞に選定された応募作は必要により修正する場合があります。【愛称募集、講演会の申込み・問合せ先】

講演会

「元気で長生き 笑いで健康」

本市は、高齢者の健康づくり・介護予防を応援しています。今回講演していただく昇幹夫(のぼりみきお)先生(60) =写真=は、大阪市の産婦人科医であり、また「元気で長生き研究所」所長、「日本笑い学会」副会長として、笑いの効用を研究しています。聞くだけでも、心も体も若返るような楽しい講演会です。ぜひご参加ください!

日時 9月25日(木)午前10時~午後0時半
会場 福岡市役所15階講堂
対象 市内居住のおおむね65歳以上の人
定員 500人(先着順)
申込み方法 9月24日(水)までに右記へ電話かファクス、メールでお申込みください

公的個人認証(電子証明)サービスを一時停止します

全国的な更新作業のため、9月22日(月)は、電子証明書の発行および失効サービスが実施できません。詳細は各区市民課、区政課へ問合せを。☎各区市民課、区政課 ☎711-4074 ☎733-5595